



南山大学OBOG管弦楽団  
第6回演奏会



指揮  
高谷 光信

(ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー  
交響楽団 常任指揮者)

ピアノ独奏  
前田 祐里

オール・ラフマニノフ・プログラム  
*All Rachmaninov Program*

ピアノ協奏曲第2番ハ短調作品18  
*Piano Concerto No.2 in C minor, Op.18*

交響曲第2番ホ短調作品27  
*Symphony No.2 in E minor, Op.27*

2025

8.10日 開演 13:15 (開場 12:30)

愛知県芸術劇場 コンサートホール

チケット 前売り・当日ともに 1,000円 (全席自由席)

※本公演は未就学児の入場をお断りしています。ご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。  
芸文プレイガイド(052-972-0430) **チケットぴあ** Pコード: 292718

チケットぴあ



公式WEBサイトを中心に各種SNSにて本公演に関する最新情報をリアルタイムに発信中!

✕ @nu\_OBOG\_oché Instagram @nu\_obog\_oché

お問い合わせ: nanzanobogorch@gmail.com/090-8555-8683(藤本)

後援: 愛知県 名古屋市 南山大学同窓会

WEBサイト





# 南山大学OBOG管弦楽団 第6回演奏会

## オール・ラフマニノフ・プログラム



指揮 Conductor  
高谷 光信 Mitsunobu Takaya

東京混声合唱団 指揮者(2019年4月～)ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団 常任指揮者(2012年4月～)一般社団法人日本ウクライナ音楽協会 理事長(2022年2月～)四條畷市市民総合センターNMP芸術監督(2022年10月～)Jルーカスシンガーズ 音楽監督(2019年～)ウクライナ国立チャイコフスキー記念音楽院指揮科首席卒業。国家演奏家資格ディプロマを取得。指揮を故小松一彦、故伊吹新一、田中良和、藏野雅彦、辻井清幸、V. プラソロフ、故 E. ドゥーシエンコ、N. スーカッチに師事。2003年ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団の定期演奏会に登壇しプロデビューを果たす。首席客演指揮者(2003～2006)第2指揮者(2006～2012)常任指揮者(2012～)に就任。『ウクライナ国際ホロヴィッツピアノアカデミー』『ウクライナ国際シヴィール音楽祭』『ウクライナ国際音楽祭・キウ夏の音楽の夕べ』『ウクライナ国際バルトケーヴィツ音楽祭』に出演。2010年より『ウクライナ国際指揮マスタークラス』の講師・審査員を務める。現在までに東京混声合唱団、神戸市混声合唱団、ウクライナ国立合唱団ドゥムカ、チェルニーヒウ州立ポルトニャンスキー室内合唱団、リヴィウ国立フィルハーモニー交響楽団、パシフィックフィルハーモニア東京、大阪交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、テレマン室内オーケストラ、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、東京室内オーケストラ、愛知室内オーケストラ、エウブォニカ管弦楽団、ムジカフィルハーモニー管弦楽団、大阪チェンバーオーケストラ、神戸市室内合奏団などを指揮。《題名のない音楽会》(テレビ朝日・Osaka Shion Wind Orchestra 2014年11月23日放送)《かんざい熱視線》(NHK大阪・戦地から奏でる“希望のムジカ”ウクライナと日本の音楽家たち 2022年9月2日放送)《クラシック音楽館》《クラシック倶楽部》など、多数のTV番組に出演。2017年より故ブジコ・ヘミングと共演を重ねる。東京混声合唱団においては2008年の初登壇より約100回の共演を数える。関西大学客員教授。大阪芸術大学演奏学科客員准教授。名古屋芸術大学大学院音楽研究科・芸術学部音楽領域、武庫川女子大学音楽学部、各講師。第16回京都芸術祭京都市長賞 受賞(2002年京都)チェルニーヒウ州文化功労賞 受賞(2012年7月ウクライナ)チェルニーヒウ州行政長 文化功労感謝状 受彰(2019年7月ウクライナ)



ピアノ Piano  
前田 佑里 Yuri Maeda

3歳でヤマハ音楽教室で学ぶようになり6歳より作曲を学び始め1992年にはジュニアオリジナルコンサート合歓の里出演、翌年には国境なき医師団、ヤマハ主催、フランスパリの“サル・ブレイエル”にて開催されたジュニアオリジナルコンサートに出演、テレビ放映。1996年全日本学生音楽コンクール大阪大会小学生の部3位、1998年ウィーン音楽コンクール・イン・ジャパンにて中学生の部1位ならびにウィーン市長賞を受賞。翌年ウィーンにて夏期講習を1ヶ月間受講、室内楽コンサート、優勝者コンサート(エロイカザール)に出演。2000年菊里高校音楽科入学、大口光子氏に師事。同年、春日井市音楽コンクールにて銀賞受賞(金賞該当者なし)2002年ドイツにて行われた、“青少年のためのエドリンゲン国際ピアノコンクール”でファイナリストとなりドイツ留学を決める。菊里高校音楽科卒業後、ヤマハ音楽支援制度の奨学金を受け、すぐに渡独。翌年、マンハイム音楽大学ロベルト・ベント教授のクラスに入学、2009年2月に満場一致の最優秀の成績で卒業する。2007年青少年バルレッタ市国際ピアノコンクール(イタリア)にて1位ならび古典ソナタ賞をモーツァルトソナタで受賞、2007年、2008年マッカーニョ市国際ピアノコンクール(イタリア)にて1位なしの2位を二度受賞。同年10月にステファニー・マリツァ国際ピアノコンクール(トリエステ・イタリア)にて2位受賞。2009年ヴァイオリニスト岩城風佑とデュオ“ウィンター”結成、同年8月にロヴェレドーロ国際コンクール 青少年室内楽部門で1位受賞。これまでにDeutsche Staatsphilharmonie Rheinland-Pfalz(ラインラント＝プファルツ州立フィルハーモニー管弦楽団)を始め、フィリップペンダー 指揮 Orchestre de Cannes(フランス、カンヌ管弦楽団)、Philharmonie Baden-Baden(バーデンバーデンフィルハーモニックオーケストラ)、田中祐子指揮名古屋室内管弦楽団 他と共演する。2008年2月にイタリア、ミラノ Teatro Dal Verme にてソロリサイタルデビュー後、イタリア(ミラノ、マッカーニョ、トリエステ他)、スロヴェニア、クロアチア、オーストリア、ドイツ(マンハイム、ハイデルベルク、ヘッペンハイム、マルシュ、ヘムスバッハ、バーデンバーデン、ルードヴィクスハーフェン、カールスルーエ、ヒレスハイム、ゲイルヘルムスハーフェン、ヴァインハイム他)、フランス(パリ、ニース、サントロペ、ボンソン)、日本などでリサイタルを行う。また2005年より4年間ヴァインハイムインターナショナルマイスターコース、チェロ教授ローラント・グンツェのクラスにてピアニストとして毎年演奏。2010年より3年連続ヤマハ YPF ピアのフェスティバルにてゲスト演奏。今までに、浜松国際ピアノアカデミー(中村絃子、ミシェル・ペロブ、イェルク・デームス、マーティン・キャンニ、セルゲイ・ドレンスキー)をはじめ、レナーテ・クレッチマー・フィッシャー、オクサナ・ヤブロンスカヤ、フェリックス・ゴットリーブ、スタニスラフ・ポーチェキン、ロルフ・ディーター・アーレンスなどの講習会を受講。2013年1月マンハイム音楽大学ソリステン科を修了、国家演奏家資格を取得。2014年 NHK-FM リサイタルノヴァ出演。現在日本とドイツを拠点に活動中。2009年より2年間ライオンズクラブマンハイムの、2011年よりスイスDOMS奨学金を授与。そして2010年より、ニース国際ピアノコンクールの審査員を、現在は様々なピアノコンクールの審査員を務めている。名古屋音楽大学、名古屋芸術大学、明和中学・高校音楽科 非常勤講師。

### 南山大学OBOG管弦楽団



2018年夏頃に「南山の仲間ともう一度音楽がしたい」という純粋な気持ちから南山大学管弦楽団OBOGの有志らにより設立。2019年に第1回演奏会を開催。当団は「南山オケ」を卒団してからも「いつでも帰ってこられる場所」を目指して過去の先輩方やさまざまな関係者様のご支援をいただきながらこれからも活動を続けてまいります。

(演奏会写真撮影: 福島 正和)

### 愛知県芸術劇場 コンサートホール

〒461-8525  
名古屋市東区東桜1-13-2 愛知県芸術文化センター4F



地下鉄: 東山線または名城線  
「栄」駅下車 徒歩3分

名古屋鉄道: 瀬戸線「栄町」駅  
下車 徒歩3分

(オアシス21から地下通路  
または2F連絡橋経由)